



みなさまこんにちは！まだまだ寒い日が続きますが、お変わりなくご活躍のことと思います。今回は2月1日に開催しました研修会の報告、病院連携室と地域包括支援センターの紹介をさせていただきます。研修会では熊本地震を経験された医師と保健師の先生方の講演をお聴きし、専門職として何ができるかを話し合いました。



令和6年度 奈良市多職種連携全体研修会 開催報告 130名の方が参加されました 奈良盆地東縁断層地震が起こったらどうする？ ～熊本地震の経験から学ぶ～



熊本市医師会副会長
宮本大典先生

平成28年4月16日熊本地震 震度7
直面した課題や必要性について



熊本県訪問看護
ステーション
連絡協議会理事
木村浩美先生

- ハザードマップでは、熊本市の地震発生確率は0～6%、本当に起こると思っていなかった。
- 奈良盆地東縁断層帯の地震発生確率も0～5%と同等…かなり高い確率。決して甘く見てはいけない！
- 築年数が新しい建物でも、天井の落下や棚が崩落し、奥に保管していた災害備品をすぐ取り出せなかった。
- 電話が繋がらず、状況把握、情報収集に時間がかかった。発信できないことで支援を受けることができなかった。
- 支援者自身も被災者であり、自分たちの身のまわりも復旧させる必要があった。 など…



震災を経験し行動したこと、伝えておきたいこと



準備 しないでおくということは 失敗するための 準備 をしているようなものだ

- ☆ 熊本地震ではハザードマップの予測と被害状況が一致していた。職場や自宅はどうか、**ハザードマップで確認**しよう。
- ☆ 混乱した現場ではマニュアルが迅速な初動の確立に有効だったが、その後は応用の連続。柔軟に対応できるように**普段からイメージしておくこと**が大事。
- ☆ BCPもBCM(事業継続マネジメント)も終わりは無い。常に見直し、準備をすることが必要。
- ☆ 常日頃の交流が大事！普段から同職種や多職種間でのつながりがあることで、支援の依頼や応援をしやすくなる。

情報 を制するものがすべてを制する！

- ☆ まずは情報共有！SNSと紙媒体のアナログ、両方あると良い。
- ☆ いつ、どこで、何が必要か？
SOSを発信する力とキャッチする体制づくりが重要。
- ☆ **SNSで「どこでも対策会議」と称し、情報共有**することで**速やかに連携**できた。
- ☆ 「日常の医療」は電気やガスと同様のライフライン。日常診療の早期復旧と市民への適切な情報提供が最重要。
- ☆ 近隣の事業所間で利用者のケア内容を共有し、災害時の安否確認や支援を行う**ペアステーションの協力体制**を作った。



自然災害は忘却との戦い…日々 **訓練** を重ねよう！



「奈良あんしんネット(MCS)」による災害時模擬訓練を実施します

奈良市では、**奈良あんしんネットに多くの事業所が登録しています！**まだ登録をしていない方はこれを機にご登録ください。災害時、電話やFAXが繋がらない場合に備え、職員や他事業所との連携、連絡方法のひとつとして奈良あんしんネットが有用です。

3/18 (火) 共助のネットワークづくりのため
模擬訓練にぜひご参加ください！
また、災害時に自分や職員がどう行動するか、**小さなシミュレーション**をしてみましょう。



当院は昭和48年に医療法人新生会 平城診療所として開設され、昭和57年に総合病院 高の原中央病院となり、多くの皆様に支えられ、地域に根ざした医療機関として成長して参りました。現在では、回復期リハビリテーション病棟50床を備えた249床の一般急性期型の総合病院で、「真に求められる医療を目指し、地域の皆様に貢献します」という理念を掲げ、地域に密着した医療を行っております。

特に救急医療に力を入れており「24時間365日断らない病院」を目指しています。一般急性期部門では、かんさいハートセンター、消化器内視鏡センター、透析センター、健診センターなど機能別のセンターを設け、それぞれが専門性を追求し、病院の機能を高めています。かんさいハートセンターでは、24時間365日受け入れる体制をとっております。

令和6年5月には南館を増築し、精緻な最新鋭の320列CT・3TMRI装置を新規導入しました。

また、令和7年2月より、地域包括ケア病棟もオープンし、ますます地域医療に貢献できるものと考えております。

地域医療連携センターにご相談ください



地域医療連携センターは、相談員4名、看護師3名、事務員5名で、外来診察・検査（内視鏡等）の予約受付、入院の受け入れ、退院支援、逆紹介、福祉相談など当院の窓口として、さらに機能の充実に努め、関係機関様との連携を推進してまいります。

包括紹介コーナー 京西・都跡地域包括支援センター



こんにちは。奈良市京西・都跡地域包括支援センターです。早いもので、年が明け節分も過ぎ、もうすぐひな祭りです。まだまだ寒い日が多く、早く暖かくなれないものかと春を心待ちにしています。

当センターは都跡小学校区・六条小学校区・伏見南小学校区を担当しています。地域の特徴としては、世界遺産の唐招提寺や薬師寺があり、大池から見る東塔と西棟はとてもきれいです。また、奈良県の伝統工芸品に指定されている赤膚焼きの窯元もあり、古都奈良にふれる機会もさまざまあります。この地域には先祖代々から永く居住されている方も珍しくなく、細い道や坂も多くあるところです。一方、奈良県総合医療センター・奈良医療センター・五条山病院・西の京病院などの医療施設や福祉施設も多くあります。

地域包括支援センターは、高齢者やその家族が地域で安心して生活できるように支援するための施設です。当センターでも、毎日高齢者やその家族の方からの相談を受け付け、必要な情報やサービスの提供を行い、高齢者が自立した生活を送るための健康維持や生活支援をしています。そして地域の医療機関や福祉サービス、ボランティア団体などと連携し、地域全体で高齢者を支える体制づくりに努めています。

地域住民の方が安心して生活できるよう、さまざまな団体と連携しながら必要な情報が提供できるだけでなく、必要なときに気軽に相談していただける地域住民の気持ちに寄り添った地域包括支援センターを目指しています。

